

「与路小・中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

瀬戸内町立与路小・中学校

2 学年・人数

小学生5名（4年 女子2名，5年 女子2名，6年 女子1名）
中学生1名（1年 男子1名）

計6名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成30年5月12日(土) ふれあい活動にて練習（本校体育館）
平成30年9月7日(金) 八月踊り練習（本校校庭）

(2) 発表の日時・場所

平成30年9月16日(日) 与路豊年祭（与路地区公民館）
平成30年10月7日(日) 秋季大運動会（本校校庭）
平成30年11月10日(土) 学習発表会（与路地区公民館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

旧暦八月最初の丙の日に行われるアラセツ（新節）は，正月にも勝る大切な日とされていた。初丙なので，ヒノエマツリともよばれ，火の用心とか火災予防のお祈りの行事であるという言い伝えもある。このようなことから，いつしか踊りが生まれ，伝承されてきた。この八月踊りは，アラセツの前の晩から始まって，集落の広場に大勢の人が集まり，夜半まで八月踊りを楽しんでた。この日から十五夜まで毎晩八月踊りをしていた。

(3) 構成等

八月踊りは，老若男女が輪になり声を掛け合って踊る。与路島で踊られるのは，「しょうしれやれ」「やいきよら」「ちくてんぐわ」「やしゅりゃ」「ぬやまくじょ」「どんどんぶし」「しょどんながはま」「さんぬながね」の8曲である。

5 保存会や地域との連携の具体

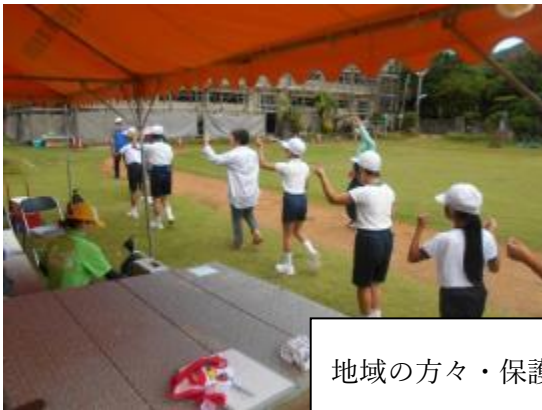
保存会は特はないが，郷土の歴史や伝統文化の理解・保護・伝承発展のために地域と連携して，創意や総合の時間に八月踊りの練習を設けた。講師は地域の方々へお願いし，今年度は2回指導をしていただいた。講師の方々が踊るのを見よう見まねで踊っていく。

本校は，地元の子どもではない海の子留学生が在籍しており，2回の指導では踊りを覚えることができなかった。そのため，地域の方が踊っている姿を映像に残し，それを見ながら他の時間にも練習を行った。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- ・ 八月踊りを継承していくために、学校と地域が連携協力しながら学習を行った。
- ・ 保護者にも参加していただくために、授業参観・学級PTAの日に合わせて練習を行った。
- ・ 学習した「八月踊り」を発表する場をできるだけたくさん設けた。(運動会・豊年祭・学習発表会など)
- ・ 八月踊りの曲のうち「さんぬながね」を一校一島唄として歌い、子どもだけでも声を掛け合って踊れるようにした。
- ・ 「さんぬながね」の歌詞の意味を子どもたちに伝え、少しでも与路島の歴史について考えさせられるようにした。

7 取組の様子(練習状況, 発表の場等)



地域の方々・保護者を交えての練習



(運動会)来場者全員で八月踊り



(学習発表会)児童生徒のみの発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(児童生徒)

- ・ 初めは、難しくて踊れなかったが、踊れるようになったら地域の方が褒めてくれて嬉しかった。

(教員)

- ・ 地元の子どもたちはもちろん、海の子留学生の子どもたちも意欲的に取り組むことができた。踊るだけでなく、背景にある歴史などを学ぶことで与路島に対する愛着も強くなると思うので、より力を入れていけたらと思う。

また、練習時間は短いですが、地域の方々が直接教えてくださったり、保護者が参加してくださったりすることで、地域への活性化にもつながるのではないかと。今後も継続していきたい。